

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第32週	第31週	第32週		第31週		第32週		第31週		第32週		第31週		第32週		第31週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	20	24	1	1	4	1	0	0	3	0	0	1	0	1	1	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	55	4	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0	1	0	3	0
感染性胃腸炎	91	127	21	1	29	0	21	0	29	0	0	1	0	0	0	0	0	0
水痘	9	13	0	1	4	1	0	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0
手足口病	12	21	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0
伝染性紅斑	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	26	24	0	1	7	1	0	0	6	0	0	1	0	1	0	0	1	0
ヘルパンギーナ	253	204	18	4	23	0	5	0	18	0	0	2	0	0	13	2	5	0
流行性耳下腺炎	1	15	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	66	56	3	2	3	0	3	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	25	23	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

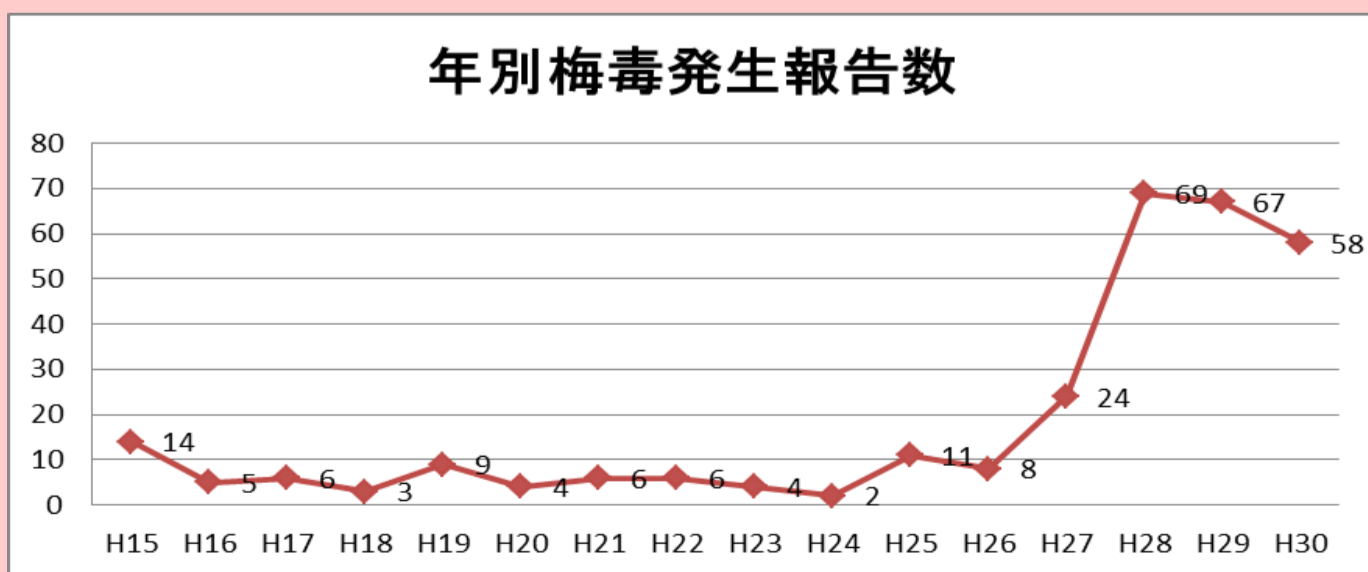
<p>流行中</p> <p>〈ヘルパンギーナ〉 発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に流行します。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。</p>	<p>※飛沫感染 患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。</p> <p>※接触感染 細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻繁に人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。</p> <p>※糞口感染 接触感染の一種。便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染します。排泄後の手洗い、オムツの適切な処理が必要です。</p>
<p>小流行中</p> <p>〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎〉 A群レンサ球菌による上気道の感染症です。感染経路は飛沫感染、接触感染です。</p> <p>〈RSウイルス感染症〉 RSウイルスの感染による呼吸器感染症です。症状は軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。感染経路は飛沫感染、接触感染です</p>	

県内で梅毒の発生報告が増加

県内での梅毒の発生報告が平成30年32週現在で58件ありました。平成29年は67件の報告があり、平成29年32週では33件の発生報告でした。昨年と同じ時期と比較すると25件多くなっています。

※ 県内の発生報告状況

平成27年以降増加が目立ち初め、27年は前年の3倍、28年は前年の2.9倍となりました。29年は前年より2件少ない状況でしたが67件の報告がありました。
 平成30年は32週現在で前年の同じ時期と比較して約1.8倍(25件)多い報告があり、前年を上回っている状況です。



※H30は32週までの発生報告件数

※ 梅毒とは？

- 梅毒トレポネーマという細菌の感染によって生じる性感染症です。
- 主に性的接触により、皮膚や粘膜を通して感染が広がります。
- 感染後3~6週間程度の潜伏期を経て、経時的に陰部への潰瘍、リンパ節の腫れなど様々な臨床症状を呈します。時に無症候になりながら進行するため、診断や治療の遅れにつながる場合があります。
- 妊婦が感染すると母体から胎盤を通じて胎児に感染し、死産・早産・新生児死亡・奇形につながるおそれがあります。

※ 予防のポイント

- 不特定の相手との性行為は避けましょう。
- コンドームを正しく使用することによりリスクを減らしましょう。
- 感染の疑いがある、または不安な場合は、早めに医療機関を受診しましょう。県中保健所ではHIV・梅毒の検査を匿名で行っています。詳しくは下記問合せ先までお電話ください。
- 【問合せ先】 TEL0248-75-4338(受付時間 平日8:30~17:15)
- 妊娠中の方は、妊婦検診を必ず受診しましょう。

この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム